

## 令和2年度 防府高等学校 学校運営協議会

令和2年度 防府高等学校 学校運営協議会 委員名簿 . . . P. 1

第1回学校運営協議会 協議概要 (R2.6.18) . . . P. 2

第2回学校運営協議会 協議概要 (R2.10.20) . . . P. 3

令和2年度 防府高等学校 学校運営協議会 委員名簿

No.	所属	役職	氏名
1	山口大学	副学長	田中 和広
2	山口県立大学	副学長	田中 マキ子
3	山口県立総合医療センター	院長	武藤 正彦
4	山口大学大学院医学系研究科	教授	小林 誠
5	出雲地区社会福祉協議会	会長	津田 ます子
6	株式会社「おはな」	取締役	野村 新一郎
7	防府市立桑山中学校	校長	岡本 昭彦
8	山口市立德地中学校	校長	青木 典生
9	防府高等学校	PTA 会長	中村 顕
10	防府高等学校佐波分校	PTA 会長	米田 美樹
11	同窓会	理事	平野 順子
12	防府高等学校	校長	小土井 実

## 第1回学校運営協議会 協議概要 (R2.6.18)

### 1 学校運営協議会の制度及び運営について説明

### 2 会長及び副会長選出

- 会長：山口大学副学長 田中 和広 氏
- 副会長：山口県立大学副学長 田中マキ子 氏

### 3 学校運営の方針について

- 教育方針・育てたい生徒像・重点目標・学校評価書について説明 → 承認
  - Q：コロナ禍の中で生徒のメンタルケアはどうなっているか。
  - A：生活アンケートやスクールカウンセラーによる動画の配信などを実施
  - Q：県立高校の夏季休業はどうなっているか。
  - A：学校によって異なるが、本校は8/8～8/16 分校は8/1～8/25

### 4 年間計画・取組内容に対する提言・意見交換

#### [本校]

- 本校の現状～家庭学習時間が増えても、成績の維持・上昇に繋がらない。  
→【課題】・「家庭学習の質」をいかに高めるか。  
・自ら課題を設定し、より高みを目指す態度の育成
- 大きく成績が下がった時期に何があったのか、原因を明らかにし、対応策を具体的に示してほしい。
- 学習成績が伸びない原因を家庭や塾のせいにするのではなく、防府高校として何をするのかを示してほしい。
- 生徒も先生も、最初から難関大学を諦めている雰囲気があるのではないかと。少し上をめざす指導が必要と考える。
- 生徒は良い子が多くて少し競争心が低い。生徒の心に火をつける方法を考えてほしい。
- 何か光るものがあるとよい。それを前面に打ち出してほしい。
- ラインで学習の質問をする子もいる。ICTの活用も積極的に進めてほしい。
- 勉強にしっかり取り組む優秀な看護師を育成してほしい。

#### [分校]

- 徳地全体をキャンパスとする学びを推進するという重点取組テーマに対して、今回計画されている二つのプロジェクトは、どちらも素晴らしい。
- 佐波分校が地域のプラット・フォームの役割を果たすことができるように、地域の会合等で自分たちも協力を呼び掛けていく。
- 交通手段としてキックボードの導入を検討したらいかがか。
- 徳地和紙が星野リゾートで採用され話題を呼んでいるが、まだ地元浸透していないようである。この機会に徳地和紙とのコラボにトライされたらどうか。
- 佐波分校が地域のプラット・フォームになり得る企画の一つとして、文化祭において、地域の人々と若者が語り合えるような場を設定したらいかがか。
- 大人がお膳立てしたものをやるだけでなく、自分たちでも知恵を出し、汗を出し、元気を発信するような活動の中から、自己肯定感や自己有用感を醸成してほしい。高校生のうちに成功体験を味わい、夢を語る若者に育ってほしい。

### 5 まとめ

- 新しい考え方、とらえ方を取り入れ、緊張感をもって生徒を引き上げてほしい。防府高校を光り輝く高校にしてほしい。感染症の対応では、高校生へ様々な支援が必要と考える。
- Society5.0の実現や感染症対策のための新しい生活様式への対応など社会が大きく変化する中で、「工夫する」「知恵を出す」ことを考えさせるよい機会でもある。防府高校でこんな体験があったからこの危機を乗り越えられたというような教育が必要である。

## 第2回学校運営協議会 協議概要 (R2.10.20)

### 1 令和2年度前期の取組について説明

#### [本校]

- 医療従事者等による地域医療担い手育成セミナーについて、シリーズで3回実施。
- 家庭科の授業で、「乳幼児とのふれあい体験学習」に代えて「ライフデザインセミナー」を実施。
- やまぐちハイスクールブランド創出事業の活動報告
- SWOT分析を活用した教職員研修等を通して、今後の学校教育方針を検討予定。

#### [分校]

- 「地域の交通問題について考える」というテーマで、バス停周辺の安全点検と清掃、待合室を徳地の観光拠点にする取組、地域の方と共同でベンチを製作する取組を実施。
- 分校であってもあらゆる教育機会を保障する取組を進めていきたい。

### 2 取組内容に対する提言・意見交換

#### [本校]

- 重点取組テーマにある「生徒が主体的に学ぶ姿」について、具体的にどのような姿をめざしているのか。この点について、教職員の共通理解が必要なのではないか。その上でそういった生徒を育てるための「しかけ」があって、生徒が育つのではないか。
- 社会に出たときに生きる力を育むにはどうすればよいかを考えていく必要がある。
- 「自分で課題を見つけていく力」「主体性」「挑戦していく力」「繰り返しやれる力」など、Society5.0の時代に求められる人材は何かを考えてほしい。
- 学校休業中のICT活用について、生徒はどのように感じているのか検証する必要がある。今後、学校でICTを活用していく上で、今回の振り返りがヒントになると思う。
- 防府高校には特色がない。「地元で愛される学校」「あこがれの学校」であってほしい。
- 一旦都会に出ても、将来山口に帰ってこられる何かを高校でできないだろうか。
- 10年後、15年後に帰ってきたいと思ってもらえる地域づくり、山口に残る人材をつくる取組も大切である。

#### [分校]

- 中学校の生徒を他地域から入学させる取組みがあったが卒業後は、徳地に残らない。
- 就職を考えた場合に商工業系の学校の人気の方が高い。
- 魅力ある部活動があると良いが、世の方向性は部活動の社会教育への移行である。
- 防府・山口・周南と通いやすい地域に普通科があり、佐波分校の特色が必要。
- 私立はバスで迎えに来るが、佐波分校には高いバス代を自前で支払う壁がある。
- 徳地和紙、人形浄瑠璃等、地域の財産を生かしたい。
- 防府から通ってきている子どもたちを大切に育てたい。
- 地域の小中学校との連携も大切に継続したい。
- 地域の特色を生かした分校ならではの取組みを継続して推進していただきたい。
- 地域づくり協議会の交通プロジェクトへの参画はたいへん良かった。地域の方々も何度も佐波分校に足を運び生徒との共同作業を楽しんでいらっしやった。単年度ではなく、継続して取り組んでもらいたい。













